

平成 28 年度第 2 回小牧市総合教育会議 議事録

日 時	平成 28 年 8 月 23 日 (火) 10 時 00 分～11 時 10 分
場 所	小牧市役所本庁舎 6 階 601 会議室
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <p>山下 史守朗 小牧市長          安藤 和憲 小牧市教育委員会 教育長          代田 玲子 小牧市教育委員会 委員 (教育長職務代理者)          斎藤 由美 小牧市教育委員会 委員          伊藤 敬一 小牧市教育委員会 委員          山田 周司 小牧市教育委員会 委員</p> <p><b>【説明員】</b></p> <p>伊木 利彦 市長公室長          小塚 智也 こども未来部長          大野 成尚 教育部長          伊藤 一裕 教育次長 (学校教育担当)          鍛冶屋 勉 教育次長 (社会教育担当)          松永 有紀彦 教育委員会事務局 教育総務課長          中谷 直 教育委員会事務局 学校教育課長          岩本 淳 教育委員会事務局 生涯学習課長          野田 弘 教育委員会事務局 教育総務課長補佐</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>山本 哲修 市長公室次長          舟橋 朋昭 市長公室 秘書政策課 市政戦略係長          丹羽 勇人 市長公室 秘書政策課 市政戦略係</p>
傍聴者	7 名
配付資料	<p>資料 1 構成員名簿／座席表</p> <p>資料 2 小牧市教育大綱の素案について</p>

内容

<p>1. 市長あいさつ</p> <p><b>事務局)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定刻となりましたので、平成 28 年度第 2 回小牧市総合教育会議を開催いたします。</li> <li>私は本日の進行を勤めさせていただきます、市長公室次長の山本と申します。どうぞよろしくお願いします。</li> <li>それでは、まず初めに、山下市長からごあいさつをお願いいたします。</li> </ul> <p><b>山下市長)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本日は、ご多忙のところ小牧市総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。</li> <li>前回の総合教育会議では、教育大綱の概要や策定に関する基本方針、今後のスケジュールなどについてお示しさせていただきました。</li> <li>本日の総合教育会議では、本市の教育大綱の素案をお示しさせていただき、皆様方からご意見をいただきながら、具体的な議論に入ってまいりたいと考えております。</li> <li>ご承知のとおり、教育大綱は国の「第 2 次教育振興基本計画」を参酌し、その地域の実情に</li> </ul>
--

応じた地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものでありますので、小牧市の「教育振興基本計画」との整合・連携も図りながら、小牧市独自の大綱にする必要があります。

- ・ 大綱では、小牧市が考える教育のあり方として、何を土台にして、何を育み、子どもたちに何を伝え、どのような人間に育ててほしいのか、それを分かりやすく示すことができれば、と考えております。
- ・ 先般も子育て世代とのタウンミーティングや、学校の先生との意見交換会を開催させていただき、私としても色々と考えさせられました。
- ・ 今日お示しする素案はまだまだ文言等、荒削りなところもあるかと思いますが、忌憚のないご意見をいただき、実りの多い議論をしてみたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げて、開会にあたっての私からの挨拶とさせていただきます。

## 2. 教育長あいさつ

### 事務局)

- ・ 続きまして、教育委員会を代表して安藤教育長よりごあいさつをお願いいたします。

### 安藤教育長)

- ・ 本年度、第2回目の小牧市総合教育会議の開会にあたり、私からも一言ごあいさつをさせていただきます。
- ・ 本日の会議の主題につきましては、山下市長からのごあいさつにもありましたとおり、本市としての特性を活かした小牧市教育大綱の本格的な審議にあると認識しております。
- ・ 小牧市教育委員会としてはこれからの本格的な審議を受けながら、今後の小牧の教育を見据えた小牧市教育振興基本計画の中に、この大綱の精神を反映していきたいと考えております。
- ・ そのためにも本日の総合教育会議が実り多き会になりますことをご期待申し上げまして、あいさつに代えさせていただきます。
- ・ 本日はよろしく申し上げます。

### 事務局)

- ・ ありがとうございます。
- ・ なお、そのほかの教育委員の皆さまにつきましては、時間の都合もございますので資料1の構成員名簿をもって紹介に変えさせていただきますと思います。
- ・ それでは以降の司会につきましては、当会議を主宰いたします山下市長にお願いをしたいと思います。
- ・ 市長、よろしく申し上げます。

## 3. 協議調整事項

### 山下市長)

- ・ それでは、早速ですが、次第に従って進めさせていただきます。
- ・ 次第の3「協議・調整事項」の「教育大綱の素案について」説明を求めます。

### 市長公室長)

- ・ それでは、「教育大綱の素案について」のご説明をさせていただきます。
- ・ 資料2をご覧ください。

- この素案は、本年2月に実施いたしましたアンケート調査の結果、あるいは前回5月に開催しております平成28年度第1回総合教育会議や教育に関する意見交換会、タウンミーティングで出された意見などを踏まえ、市政戦略本部で作成したものであります。
- この素案は大きく「基本理念」「基本目標」「基本的な方向性」の3項目から構成されております。
- まず資料の左側上段にあります「基本理念」は、小牧市の教育に関する基本的な考え方を示すもので、「郷土の歴史と市民力を礎に愛と夢、生きる力を育みます。」といたしました。
- 小牧市は、市制60年の節目を超え、新たな飛躍を目指すべく市制の充実期を迎えております。
- これまでの市制を振り返るとき、そこには「史跡小牧山」などに象徴される揺るぎなき歴史と、先人の英知と市民力の創造により発展を続ける小牧の今があります。
- 小牧市は、これからも発展していくことが求められています。
- そのためには、これからの小牧市を担うべき若い力が育っていくことが求められます。
- そこで小牧市は、市民総意のもとに、温かな心の源としての「愛」と自らの志に向け努力し続ける意志の源としての「夢」を心に抱きつつ、変化の激しい社会に適応し人生をたくましく生きていくための「生きる力」を育むことを、小牧の教育大綱の基本理念といたしました。
- その下の「基本目標」では、この「基本理念」を踏まえ、「自他を愛する心や、国及び郷土を愛する心を大切にできる人」、「生涯にわたって夢や希望を抱き、志を持って、国や地域、国際社会の発展に貢献できる人」、「主体的に学び・考え、変化の激しい社会に適応し、心身を健全に保って、人生をたくましく生きられる人」の育成を目指すこととしております。
- ここでの「愛」とは、いのちの尊さを理解し、自らを認め、自らを育ててくれた家族や隣人、郷土に感謝し、他者を思いやる温かな心の源となるもの。
- また「夢」とは、自らを高め、希望を持って成長していくために大切なものであり、確かな志を抱き、目標を持って努力し続ける意志の源となるもの。
- そして「生きる力」とは、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の“知・徳・体”をバランスよく育て、人間としての成長と発達を続けることで身につけるものであり、変化の激しい社会を生きるための力のこと、であると考えました。
- 続きまして、資料右側「基本的な方向性」をご覧ください。
- 「基本理念」、「基本目標」を実現するために取組む、教育に関する施策や事業などの方向性を「基本的な方向性」として記載しております。
- この「基本的な方向性」は学校教育、社会教育を含めた8つの分野からなっており、それぞれの方向性ごとに、その目的を記載しております。
- 「1 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実」では、様々な課題に関心を持って主体的に学ぶことで、確かな学力を育むこと、広い視野を持って、多面的に物事を見ることが出来る柔軟な発想力と豊かな創造力を育むことを目的としております。
- 「2 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成」では、他者を尊重し、互いに思いやれるやさしい心を養うこと、次代にいのちをつなぐことの尊さを学び、自他のからだやいのちを大切にすることを目的としております。
- 「3 未来につなげる、充実した教育環境づくり」では、教育の質を高め、一人ひとりのこどもの「学び」を保障すること、学校施設の整備など、すべてのこどもが安心して学ぶことが

できる環境を整えることを目的としております。

- ・ 「4 家庭・地域・学校の連携による教育の推進」では、家庭教育・地域教育の大切さを伝え、地域ぐるみでの教育、子育て、青少年健全育成活動の展開を促進すること、家庭・地域・学校の連携を強化し、多様な人材の参画による学校運営を推進することを目的としております。
- ・ 「5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり」では、誰もが、学びたいときに学びたいことを学ぶことができる環境を整備すること、市民が自らの学びを社会や地域に還元し、役立てるようにするとともに、互いに学びあい育ちあう関係を創出することを目的としております。
- ・ 「6 あらゆる市民が参加できるスポーツ活動の展開」では、運動やスポーツを通して、あらゆる活動の土台となる基礎体力を育むこと、すべての市民が生涯スポーツに取り組み、スポーツを楽しめる機会・環境の整備を進めることを目的としております。
- ・ 「7 市民とともにつくる芸術・文化の振興」では、質の高い文化・芸術作品にふれ、楽しむことができる機会を提供するとともに、市民自身の創作活動や団体活動を支援すること、市民と様々な団体の連携・協働により、文化の振興を推進する体制を構築することを目的としております。
- ・ 「8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承」では、郷土の歴史・文化遺産等に関する市民の理解を深めるとともに、関係機関の連携・協力による保護、活用を進め、次世代へ引き継ぐこと、子どもたちが郷土の歴史・文化を知り、それらに触れることで、郷土への愛着や誇りを醸成することを目的としております。
- ・ これら8つの方向性に沿って、施策や事業を推進していくことで、「基本理念」および「基本目標」の実現を図っていくものであります。
- ・ 以上で説明を終わります。

#### 山下市長)

- ・ ただいま市長公室長から説明がありましたように、私の元で庁内各課と調整を致しまして、まずもって今日、この素案をお示しさせていただきました。
- ・ 少し補足を致しますと「愛」「夢」「生きる力」ということを基本理念として出しておりますが、「愛」という言葉が良いか悪いかは別として、まずこういう気持ちが必要だろうと。
- ・ 「夢」のところでは何の為に生きるのか、自己実現をはかっていく、そして志を持って社会に尽くしていくということであり、小牧市は「愛」と「夢」を大事にするべきではないか、ということで整理をさせていただきました。
- ・ 「夢・チャレンジ」ということも小牧市は言っていますので、「夢」という言葉は符合するのではないか、という想いもございました。
- ・ 「生きる力」につきましては、基本的には国の学習指導要領にあります「生きる力」の説明文とほぼ一致をした内容であり、まさに「愛」「夢」を大事にしながらそれを如何に社会の中で自他のバランスを取りながら実現していくのか、という力のことだと思っております。
- ・ これ以外にもそれぞれの委員さんごとに想いがあるかと思しますので、忌憚のないご意見・ご発言をいただければと思っておりますが、まずは基本理念・基本目標の部分を固めながら、基本的な方向性につきましては教育振興基本計画との整合をはかっていきたいと考えております。
- ・ 以上、私からの補足でありました。
- ・ ではこの教育大綱の素案につきまして、何かご発言がありましたらお願いいたします。

### 山田委員)

- ・ 率直な感想としまして、理念の中の市民力という言葉がわかりにくく、またそれを礎にする、もとにするという意味が良くわからないと思いました。
- ・ 市民力というのは普通教育を市民や地域社会と連携・協働しながら進める、というニュアンスだと思いますが、それが基礎、ベースになるということがイメージしにくい。
- ・ それと「愛」という言葉はとても抽象度が高く、色々な人が色々なイメージを持っており、例えば「人類への愛」だとか何か限定を付ける必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 教育の文章でも通常は「人を思いやり、愛情あふれる心、愛情あふれる態度」などの言い回しで、教育における「愛」というものを具体性でもって表現してきました。
- ・ また、その下の基本目標と「愛」を具体的な人物像として説明しており、なるほど、と思ったところで、更にその下に「愛」の説明があり、どういう構成なのかわかりにくい。
- ・ そもそも改めて説明が必要な言葉を理念や目標に置くのはどうかと思いますので、一読してわかるような文章にするべきではないのでしょうか。
- ・ ただ「愛」や「夢」というのはキャッチフレーズというか、言葉自体は非常にいいと思うので、これを何とか使いたいということであれば、例えば基本理念に市長の言葉で「愛とは、夢とは、生きる力とはこうということ、小牧市は愛・夢・生きる力を育みます～」といった内容の前文をつけるであるとか、語句の説明部分も基本目標の中に入れてしまうとか、説明文自体を目標文に溶け込ませてしまうとか、子どもたちが見ても分かりやすいように書きぶりを工夫する必要があると思います。
- ・ それと、基本理念・基本目標は「子どもを育てる」という観点のものだと思いますが、基本的な方向性には生涯学習やスポーツ、文化ということまで入っており、今の理念・目標でそういったことまで読めるのかどうか、あるいはそういったことに触れなくていいのか、ということが気になりました。
- ・ もう一点、見出しの基本的な方向性という言葉もわかりづらく、国の表現にならったのだと思います。この8つの分野にそって教育委員会として計画を作っていくことになると思うと、もう方向をある意味では出してしまっており、方向性ではないように思います。

### 山下市長)

- ・ 貴重なご意見、ありがとうございます。
- ・ 基本理念があって基本目標があって、また言葉の定義のようなものがある、わかりにくいのではないかと、ということについては、確かにそのような捉え方をされる可能性もあるな、と率直に感じました。
- ・ この素案を作るにあたって、小中学生の保護者の皆様から「どのような大人になってほしいか」といったテーマでご意見を伺ったこともあり、基本目標に書いてあるような人を育てていきたい、というところを最初にまとめさせていただきました。
- ・ 例えば愛では、下に書かれているような、命を大切にするとか、思いやりを持つとかといったことも含まれると思っておりますが、全てを盛り込むと基本目標としては長くなりすぎてかえってわかりにくいのではないかと意見もあり、できるだけ簡潔に示そうということでこのような記載になったということが一つあります。
- ・ この良し悪しというのは色々意見があろうかと思えます。
- ・ そこにタイトルをつけたのが基本理念ということです。
- ・ 確かに「愛」というのは幅広すぎてわかりにくいというご意見はもっともですが、そうなる

と「生きる力」という言葉にも同じことが言えると思います。

- ・ 「愛」も「生きる力」も抽象的ではありますが、非常に奥の深い言葉なので、我々としてはこれを共通理解とする努力をしていきたいと思っております。
- ・ わかりにくいというのはその通りなのかもしれませんが、包括的に、端的に示す言葉としてつけさせていただいたものだというご理解いただきたいと思います。
- ・ これが良いか悪いか、他にもっと良い案があるか、現実的に考えて議論していきたい、というところがございます。
- ・ それと基本理念・基本目標については、どういう人に育ててほしいか、という視点で検討してきたものではあります。ここに示している基本理念・基本目標が子どもたちだけに対してのもので大人になったら関係ないかという、そうではなく、基本的には子どもからお年寄りまで小牧市としてはこういう人間像を描いています、と言っていると思っています。
- ・ 特に「生きる力」はその最たるもので、幼少期だけで培われるものではなく、生涯を通じて研さんを積んで身につけていくものだと思いますし、「愛」や「夢」も同様です。
- ・ 義務教育、学校教育のことが教育のボリュームの大きいところではありますが、大人になってからも含めて教育理念・目標として十分に相応しいのではないかと考えて作ったものです。
- ・ ただ文化・スポーツというところまで網羅されていると言われると、そうは言い難いかもしれません。

#### **代田委員)**

- ・ 基本理念、いわゆるタイトルの部分は子どもたちを育てる、若い力を育てることが基本だとすれば、郷土の歴史や市民力という表現は削ってしまい、削った部分を基本目標のなかで説明してはどうでしょうか。
- ・ 勝手な感覚ではありますが、山田委員が言われるような生涯学習や文化、スポーツのことまで基本理念で網羅するのは不可能だと思います。
- ・ なので、逆にもっと抽象的にして「愛と夢、生きる力を育みます」とし、若い力を育むことを主眼におくのも一つの手ではないでしょうか。
- ・ 少なくとも、まだできあがっていない市民力を礎にすることは難しいと思います。

#### **山下市長)**

- ・ 確かに市民力を礎に、と書くと既に確固たるものがあるように捉えられかねないかもしれません。
- ・ 日本または小牧の先人の歩みを礎にするというのは教育にとって非常に重要な部分であろうという想いはあります。
- ・ 確かに市民力を礎にするというのは両委員が仰られるようにしっくりこない、「郷土の歴史を礎に市民とともに～」くらいの表現がわかりやすいかもしれない。
- ・ 基本的な方向性の4番目にも教育における家庭・地域との連携といった視点での記載もありますので、字面はともかくとして、市民みんなでやっていくのだという想いを入れたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

#### **代田委員)**

- ・ 「郷土の歴史と文化を礎に、愛と夢、生きる力を市民とともに育みます。」ではいかがでしょうか。
- ・ それと言葉にこだわるのであれば、「生きる力」の説明として「人生をたくましく生きられる

人」とありますが、「人生を楽しく生きられる人」のほうがイメージしやすく、すんなりくるのではないかと思います。

**安藤教育長)**

- ・ これからの厳しい社会に出ていく時に、そこで楽しく生きるというよりは、それに打ち勝つたくましさ、社会人として一步踏み出せるという意味のたくましさを求めないといけないと思っています。
- ・ 楽しく生きるというのはちょっと弱いのではないかと私は思います。

**山下市長)**

- ・ たしかに教育長の言われたとおり、目標としては入れにくい言葉かもしれませんが、一度事務局で検討いたします。
- ・ その他、いかがでしょうか。

**伊藤委員)**

- ・ 市民力というのは私もわかりにくいと思っていました。
- ・ それと「生きる力」というのは自分をどう持てるか、生きていくうえで色々な人と関わり、自分自身の考え方をもちてどう前に進めるかということだと思うので、力強い言葉を選んでいただければと思います。

**山下市長)**

- ・ ありがとうございます。
- ・ 山田委員から「基本的な方向性」という表現についてご指摘がありましたが、具体的にこういうふうには、といった案がもしありましたらお聞かせ願えませんか。

**山田委員)**

- ・ 案があるわけではないのですが、要するに今後の取り組みの方向ということだと思うので、それを端的な言葉にしていきたい。
- ・ 「基本的な方向性」では一体何を示しているのかわからないと思います。

**山下市長)**

- ・ 「基本的」という部分と「性」という部分が気になるということによろしいでしょうか。

**山田委員)**

- ・ そういうことです。

**山下市長)**

- ・ この「基本的な方向性」の1～8番目のうち、大きな文字で書かれている部分は教育委員会で策定を進めていただいている小牧市教育振興基本計画と整合を図る意味で同じ言葉を共有しています。
- ・ そういう意味では方向性というよりもそれぞれの施策の体系というか、取り組みの内容というか、そういうものなのだろうなとも思います。
- ・ それに方向性という言葉がしっくりくるのかこないのか、教育委員会とも相談しながら検討したいと思っています。

**山田委員)**

- ・ 市民の方が読んだときに「小牧市の教育はこういうことを目標に、こういうことをやっていくのか」というのがわかりやすい表現になっていればと思います。

**山下市長)**

- ・ そのとおりだと思います、ありがとうございました。
- ・ 大綱の作り方・示し方は全国的にまちまちで、非常に細かく具体的にまとめられている大綱もあれば、ざっくりと大まかにまとめられている大綱もあります。
- ・ 名古屋市も紙一枚にまとめられていたと思いますが、小牧市もどこまでを大綱とするかという議論もあるかもしれませんが、どちらかというシンプルにまとめたタイプだと思っています。
- ・ このまとめ方が皆さんのイメージにあっているか、というところもお伺いしておきたいと思っています。

#### **山田委員)**

- ・ 見出しの並びとして今、理念→目標→定義となっていますが、これを理念→定義→目標としてはどうでしょうか。
- ・ 法律などでも2条に必ず定義が入っていますので、それと同じ考え方だとするとそのほうがいいと思います。
- ・ もしくは文章が長くなってしまふかもしれないが、定義の部分を何とか目標の中に織り込めると1番スマートだと思います。
- ・ それが難しければ、せめて順番は入れ替えた方がいいのではないのでしょうか。

#### **安藤教育長)**

- ・ 私も同じような感想になってしまいますが、基本理念は様々な想いや考えが凝縮された集大成なのだろうと思っています。
- ・ そうしたときにこの文言からにじみ出てくる、付け足さなければならないものはまだあると思います。
- ・ だとすれば基本理念の前後に「基本理念の中にこういう思いをこめました」というような、噛み砕いた説明が入ると、理念の意味がスッと入ってくるのではないのでしょうか。

#### **山下市長)**

- ・ 前文ということでしょうか。

#### **安藤教育長)**

- ・ 例えば先ほどの公室長の説明の中にもありましたが、郷土の歴史ということであれば、小牧ですとやはり史跡小牧山に象徴される何百年と培われてきた歴史的な遺跡があるまち、であるとか、市民力という言葉で色々と議論がありましたが、市制61年、小牧市を発展させてきた先人の英知によって今があるのだ、ということ語らないと小牧の将来像が見えてこないのではないのでしょうか。
- ・ そしてこれからの小牧、あるいは日本を担う子どもたちにはこういう人間に育ってもらいたいという気持ちを凝縮させた文章があり、「愛」「夢」「生きる力」の説明があると、何となく人間像のイメージがわくので、そのあとにこういう人間の育成を目指します、と宣言すれば立派な大綱になると思います。

#### **山下市長)**

- ・ ありがとうございます。
- ・ 冒頭、市長公室長から大綱の背景というか説明を簡単にさせていただきましたが、あの辺りを洗練させて、文字として載せた方がいいのではないかということですね。
- ・ これまでのまちの歩み、歴史、アイデンティティを大事にしながら、地域との連携、市民と



の協力といった部分を明文化してみたいと思います。

- ・ ちなみに最も重要な基本目標のこういう人物の育成を目指します、という3つ、即ち「愛」「夢」「生きる力」をもった人物というのがこの書きぶりでイメージできるのか。
- ・ ここが一番重要かと思いますが、いかがでしょうか。

**代田委員)**

- ・ 先ほどの山田委員の意見と同じですが、基本目標と定義の部分を一体化できればと思います。

**山下市長)**

- ・ 一つにすることができればそのように考えてみたいと思います。
- ・ 「愛」「夢」「生きる力」の3つを小牧市の教育の基本的な考え方として、1番上に掲げていくということ自体はいかがでしょう。

**代田委員)**

- ・ 私はいいと思います。

**斎藤委員)**

- ・ 私もいいと思います。

**山田委員)**

- ・ 非常にオーソドックスでベーシックですが、大綱を10年という長いスパンで作るということであれば、むしろ基礎的・普遍的な部分としていいのではないかと思います。
- ・ 「愛」や「夢」というのはある意味で理念的な言葉であり、そのインデックスを目標部分に書いてあげて、その中身をわかりやすく説明できれば良いと思います。

**安藤教育長)**

- ・ 基本的には人間というのは温かい心が無ければ社会生活というのは営んでいけないと思っています。
- ・ だから「愛」と言われると抽象的に感じられるかもしれませんが、温かい心の源をつくっているのが「愛」だとするならば、具体的にイメージが持ちやすい。
- ・ その説明を省いてしまうと「愛」が浮いてしまう。
- ・ それに「夢」というのは意志の源というワンフレーズはすごく明確だと思います。
- ・ 自分が将来どういう人間になりたいのか、という意志を確認するためにはまず「夢」が必要であり、それが目標になり、現実になっていく。
- ・ そして最終的には「生きる力」と、この3つの力がうまく絡まっていくことで私たちが目指そうとする人間像ができあがってくるのかなと思います。
- ・ それは10年、20年、先々を見ても普遍であると思います。

**山下市長)**

- ・ ありがとうございました。
- ・ あとは表現の問題があると思いますが、基本的にはこの基本目標に掲げている3つの人間像についてはどなたも異論が無いということで一致ができたのかなと思います。
- ・ 今後はわかりやすく、端的に、しかも十分に中身を示せる言葉を考えていかなければなりませんので、今一度、本日いただいたご意見も踏まえ整理をして、お示しできればと思っております。
- ・ 他にご意見もなければ、次第の3「協議・調整事項等」については、以上で終わらせていた

だきたいと思います。

- ・ 最後に、次第の4「その他」について説明を求めます。

**市長公室長)**

- ・ それでは「その他」といたしまして、今後のスケジュールについて、ご説明をさせていただきます。
- ・ 今回、会議の中でいただきました貴重なご意見を踏まえ、素案の内容について改めて精査をさせていただきます、秋ごろに第3回総合教育会議でその修正を踏まえた大綱案をお示しする予定であります。
- ・ その後、パブリックコメント等を経て公表、というスケジュールを想定しております。
- ・ 以上で説明を終わります。

**山下市長)**

- ・ これで次第にあります事項はすべて終了となります。
- ・ 以上でわたくしの議長としての進行を終わります。
- ・ 委員の皆様には大変ご協力いただきまして、ありがとうございました。

**事務局)**

- ・ それでは、これをもちまして平成28年度第2回小牧市総合教育会議を終了いたします。
- ・ 山下市長、教育委員の皆様、ありがとうございました。
- ・ 傍聴いただいた皆様もありがとうございました。